

厚生労働省告示第 229 号／平成 30 年 5 月 21 日告示／平成 30 年 5 月 22 日施行

区分	商品名	規格単位	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	備考
内用薬	アジレクト錠 0.5mg	0.5mg1 錠	武田薬品 工業	ラサギリン メシル酸塩	パーキンソン病	通常、成人にはラサギリンとして 1mg を 1 日 1 回経口投与する。	劇、処方	新有効成分
	アジレクト錠 1mg	1mg1 錠						
内用薬	パルモディア 錠 0.1mg	0.1mg1 錠	興和	ペマフィブラ ート	高脂血症(家族性を含む)	通常、成人にはペマフィブラートとして1回0.1mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大用量は1回0.2mgを1日2回までとする。	処方	新有効成分
内用薬	スー ज्याヌ 配合錠	1 錠	MSD	シタグリプチ ンリン酸塩 水和物/イプ ラグリフロジ ンL-プロリン	2 型糖尿病 ただし、シタグリプチンリン酸塩水和物及びイプラグリフロジン L-プロリンの併用による治療が適切と判断される場合に限る。	通常、成人には1日1回1錠(シタグリプチン/イプラグリフロジンとして50mg/50mg)を朝食前又は朝食後に経口投与する。	処方	新医療用 配合剤
内用薬	オルケディア 錠 1mg	1mg1 錠	協和発酵 キリン	エボカルセ ト	維持透析下の二次性副甲状腺 機能亢進症	通常、成人には、エボカルセトとして1回1mgを開始用量とし、1日1回経口投与する。患者の状態に応じて開始用量として1日1回2mgを経口投与することができる。以後は、患者の副甲状腺ホルモン(PTH)及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1日1回1~8mgの間で適宜用量を調整し、経口投与するが、効果不十分な場合には適宜用量を調整し、1日1回12mgまで経口投与することができる。	劇、処方	新有効成分
	オルケディア 錠 2mg	2mg1 錠						
内用薬	ガラフォルド カプセル 123mg	123mg 1 カプセル	Amicus Therapeutic s	ミガーラス タット塩酸塩	ミガーラスタットに反応性のある GLA 遺伝子変異を伴うファブリー 病	通常、16歳以上の患者にはミガーラスタットとして1回123mgを隔日経口投与する。なお、食事の前後2時間を避けて投与すること。	処方	新有効成分

内用薬	シベクトロ錠 200mg	200mg1錠	バイエル 薬品	テジゾリドリ ン酸エステ ル	<適応菌種> テジゾリドに感性のメチシリン耐 性黄色ブドウ球菌(MRSA) <適応症> 深在性皮膚感染症、 慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手 術創等の二次感染、びらん・潰瘍 の二次感染	通常、成人にはテジゾリドリン酸エステルとして200mgを1日1回経口投与する。	処方	新有効成分
内用薬	ブレバイミス錠 240mg	240mg1錠	MSD	レテルモビ ル	同種造血幹細胞移植患者におけ るサイトメガロウイルス感染症の 発症抑制	通常、成人にはレテルモビルとして480mgを1日1回 経口投与する。シクロスポリンと 併用投与する場合にはレテルモビルとして240mgを1日1回経口投与する。	劇、処方	新有効成分
内用薬	ネイリン カプセル 100mg	100mg 1カプセル	佐藤製薬	ホスラブコナ ゾール-L-リ シンエタノー ル付加物	<適応菌種> 皮膚糸状菌(トリコフィトン属) <適応症> 爪白癬	通常、成人には1日1回1カプセル(ラブコナゾールとして100mg)を12週間経口投与す る。	処方	新有効成分
注射薬	トレムフィア 皮下注 100mg シリンジ	100mg1.0mL 1筒	ヤンセン ファーマ	グセルクマ ブ(遺伝子 組換え)	既存治療で効果不十分な下記疾 患 尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿 疱性乾癬、乾癬性紅皮症	通常、成人にはグセルクマブ(遺伝子組換え)として、1回100mgを初回、4週後、以降 8週間隔で皮下投与する。	生物、 劇、処方	新有効成分
注射薬	ヘルニコア 椎間板注用 1.25単位	1.25単位 1瓶	生化学工業	コンドリアー ゼ	保存療法により十分な改善が得 られない後縦靭帯 下脱出型の腰椎椎間板ヘルニア	通常、成人にはコンドリアーゼとして1.25単位を症状の原因である椎間板内に単回投 与する。	処方	新有効成分
注射薬	シベクトロ 点滴静注用 200mg	200mg1瓶	バイエル 薬品	テジゾリドリ ン酸エステ ル	<適応菌種> テジゾリドに感性のメチシリン耐 性黄色ブドウ球菌(MRSA) <適応症> 深在性皮膚感染症、 慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手	通常、成人にはテジゾリドリン酸エステルとして 200mg を 1 日 1 回、1 時間かけて点 滴静注する。	処方	新有効成分

					術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染			
注射薬	プレバイミス 点滴静注 240mg	240mg12mL 1瓶	MSD	レテルモビル	同種造血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制	通常、成人にはレテルモビルとして480mgを1日1回、約60分かけて点滴静注する。シクロスポリンと併用投与する場合にはレテルモビルとして240mgを1日1回、約60分かけて点滴静注する。	劇、処方	新有効成分
注射薬	ヘムライブラ 皮下注 30mg	30mg 1.0mL1瓶	中外製薬	エミシズマブ (遺伝子 組換え)	血液凝固第Ⅷ因子に対するインヒビターを保有する先天性血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制	通常、エミシズマブ(遺伝子組換え)として1回3mg/kg(体重)を1週間の間隔で4回皮下投与し、以降は1回1.5mg/kg(体重)を1週間の間隔で皮下投与する。	生物、 処方	新有効成分
	ヘムライブラ 皮下注 60mg	60mg 0.4mL1瓶						
	ヘムライブラ 皮下注 90mg	90mg 0.6mL1瓶						
	ヘムライブラ 皮下注 105mg	105mg 0.7mL1瓶						
	ヘムライブラ 皮下注 150mg	150mg 1.0mL1瓶						
外用薬	ラパリムス ゲル 0.2%	0.2%1g	ノーベル ファーマ	シロリムス	結節性硬化症に伴う皮膚病変	通常、1日2回、患部に適量を塗布する。	劇、処方	新投与経路
内用薬	アイセントレス 錠 600mg	600mg1錠	MSD	ラルテグラビル ルカリウム	HIV 感染症	通常、成人にはラルテグラビルとして1,200mg(本剤を2錠)を1日1回経口投与する。本剤は、食事の有無にかかわらず投与できる。なお、投与に際しては、必ず他の抗 HIV 薬と併用すること。	劇、処方	新用量、 剤形追加